

平成27年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計

福井県結果の概要

〔基準日：平成27年10月1日〕

従業地・通学地による人口・就業状態等集計は、すべての調査票を用いて、従業地・通学地による人口の構成や現在住んでいる市町と従業地・通学地の市町との関係などを集計した結果です。この結果によって、昼間人口や昼夜間人口比率などを把握することができます。

結果の要点

従業地・通学地別人口

従業地・通学地別の割合

- 「自市町」 47.5% (平成22年国勢調査から0.5ポイント低下)
- 「他市町」 17.1% (平成22年国勢調査から0.7ポイント上昇)

産業別就業者

- ・従業地が「自市町」の割合が高い産業は、第1次産業(94.6%)および、「宿泊業、飲食サービス業」(81.7%)
- ・従業地が「他市町」の割合が高い産業は、「情報通信業」(43.4%)

昼夜間人口

昼夜間人口比率

100.0 (全国第15位) (平成22年国勢調査から0.1ポイント低下)

流出入人口

- ・福井県の人口の流出入が多い都道府県は石川県および京都府
- ・県内市町間では嶺北各市町から福井市に集中して流出

平成30年3月

福井県 総合政策部 政策統計・情報課

目次

	ページ
I 用語の解説	1
II 結果の概要	
1 従業地・通学地別人口	2
2 従業地別就業者	4
3 昼夜間人口	8

利用上の注意

- 1 本文および図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入しています。また、本文および図表中の値は、表章単位未満を含んだ数値から算出しています。
- 2 結果の割合は、特に注記がない限り、分母から不詳を除いて算出しています。なお、「県内」および「他県」の割合は、「他市町」に占める割合（従業・通学市町「不詳・外国」または従業市町「不詳・外国」を除いて算出）に、総数に占める「他市町」の割合（従業地・通学地「不詳」または従業地「不詳」を除いて算出）を乗じて算出しています。
- 3 「増減数」および「増減率」は、平成 22 年国勢調査（確定値）に対しての増減数および増減率を示しています。
- 4 「－」は該当数字のないもの、「▲」は負号を意味します。

I 用語の解説

従業地・通学地

「従業地・通学地」とは、就業者が従業しているまたは通学者が通学している場所をいい、次のとおり区分しています。なお、運転者などのように戸外で仕事をしている者については、所属している事業所のある市町を従業地としています。

区 分	内 容
自市町	従業地・通学地が現在住んでいる市町と同一の市町の者
自宅	従業地が自宅（自分の居住する家または家に附属した店・作業場など）の者
自宅外	従業地・通学地が「自宅」以外の者
他市町	従業地・通学地が現在住んでいる市町以外の者
県内	従業地・通学地が同じ都道府県内の他の市町の者
他県	従業地・通学地が他の都道府県の者
従業・通学市町 「不詳・外国」	従業地・通学地が現在住んでいる市町以外であるが、市町名が不明の者または従業地が外国の者
従業地・通学地「不詳」	従業地・通学地が不明の者

夜間人口（常住地による人口）

調査時（平成 27 年 10 月 1 日）に調査の地域に常住している者をいいます。

昼間人口（従業地・通学地による人口）

当該集計の結果を用いて、次の式により算出された者をいいます。

なお、夜間勤務および夜間通学の者も便宜上、昼間人口に含めていますが、買い物客や観光客などは含めていません。

[例：A市の昼間人口の算出方法]

$$A \text{ 市の昼間人口} = A \text{ 市の夜間人口} - A \text{ 市からの流出人口}^{(注1)} + A \text{ 市への流入人口}^{(注2)}$$

(注 1) A 市から A 市以外への通勤・通学者数

(注 2) A 市以外から A 市への通勤・通学者数

昼夜間人口比率

次の式により算出され、100 を上回っているときは昼間人口が夜間人口を上回ることを示し、100 を下回っているときは昼間人口が夜間人口を下回ることを示しています。

[例：A市の昼夜間人口比率の算出方法]

$$A \text{ 市の昼夜間人口比率} = (A \text{ 市の昼間人口} / A \text{ 市の夜間人口}) \times 100$$

II 結果の概要

1 従業地・通学地別人口

・従業地・通学地が「自市町」の者の割合は低下、「他市町」の者の割合は上昇

福井県の従業地・通学地別の割合をみると、「自市町」が47.5% (▲0.5ポイント)、「他市町」が17.1% (+0.7ポイント)となっている。

割合が増加している「他市町」についてみると、「他県」に従業または、通学している者が約2,000人増加している。〔図1、表1〕

図1 従業地・通学地別人口の割合（平成22年、27年）

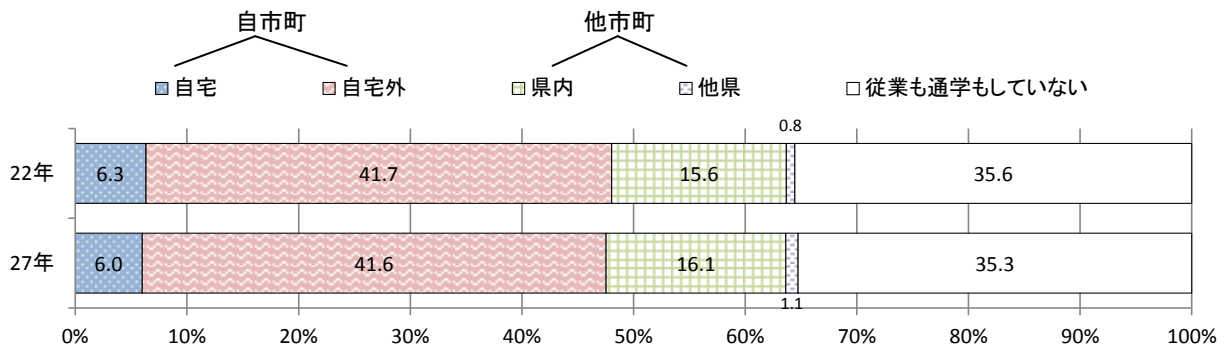


表1 従業地・通学地別人口および15歳以上就業者数（平成22年、27年）

従業地・通学地	実数(人)		割合(%) ※		ポイント差 22年～27年
	平成22年	平成27年	平成22年	平成27年	
常住人口(夜間人口)	806,314	786,740	100.0	100.0	
従業も通学もしていない 1)	279,961	267,665	35.6	35.3	▲ 0.3
自市町	378,311	360,043	48.0	47.5	▲ 0.5
自宅	49,858	45,381	6.3	6.0	▲ 0.3
自宅外	328,453	314,662	41.7	41.6	▲ 0.1
他市町 2)	129,123	129,523	16.4	17.1	0.7
県内	119,543	120,802	15.6	16.1	0.5
他県	5,802	7,920	0.8	1.1	0.3
従業地・通学地「不詳」	18,919	29,509	-	-	
うち就業者	402,252	399,172	100.0	100.0	
自市町	288,118	279,537	71.6	70.8	▲ 0.8
自宅	49,858	45,381	12.4	11.5	▲ 0.9
自宅外	238,260	234,156	59.2	59.3	0.1
他市町 3)	114,125	115,031	28.4	29.2	0.8
県内	106,365	108,441	27.2	27.7	0.5
他県	4,641	5,868	1.2	1.5	0.3
従業地「不詳」	9	4,604	-	-	

1) 労働力状態が「完全失業者」、「家事」および「その他」の者

2) 実数は従業・通学市町「不詳・外国」を含む

3) 実数は従業市町「不詳・外国」を含む

※従業地(・通学地)不詳を除くそれぞれの総数(常住人口、うち就業者)に占める割合
ただし、他市町の「県内」および「他県」の割合は次式により算出している。

県内(または他県) / (他市町 - 従業(・通学)市町「不詳・外国」) × 他市町の割合

・永平寺町および南越前町は、「自市町」に比べ、「他市町」の者の割合が高い

市町別に従業地・通学地別の割合をみると、多くの市町において、「自市町」が「他市町」を上回っており、特に福井市および敦賀市は、「自市町」が5割を超え、「他市町」が1割未満となっている。

一方、永平寺町および南越前町においては、「他市町」の割合が「自市町」を上回っている。[表2]

表2 市町別、従業地・通学地別人口（平成27年）

市町	実数（人）										割合（％）※							
	総数	従業も通学もしていない 1)	自市町			他市町				従業地・通学地「不詳」	総数	従業も通学もしていない 1)	自市町			他市町		
			自宅	自宅外	県内	他県	従業・通学市町「不詳・外国」	自宅	自宅外				県内	他県				
福井県	786,740	267,665	360,043	45,381	314,662	129,523	120,802	7,920	801	29,509	100.0	35.3	47.5	6.0	41.6	17.1	16.1	1.1
福井市	265,904	88,803	136,489	13,170	123,319	22,243	19,709	2,162	372	18,369	100.0	35.9	55.1	5.3	49.8	9.0	8.1	0.9
敦賀市	66,165	23,619	35,710	2,743	32,967	4,713	3,850	840	23	2,123	100.0	36.9	55.8	4.3	51.5	7.4	6.0	1.3
小浜市	29,670	10,851	15,091	1,895	13,196	3,449	3,117	315	17	279	100.0	36.9	51.3	6.4	44.9	11.7	10.7	1.1
大野市	33,109	11,714	16,112	2,973	13,139	5,120	4,908	184	28	163	100.0	35.6	48.9	9.0	39.9	15.5	15.0	0.6
勝山市	24,125	8,931	10,325	1,729	8,596	4,723	4,520	193	10	146	100.0	37.2	43.1	7.2	35.8	19.7	18.9	0.8
鯖江市	68,284	22,260	25,767	4,373	21,394	17,767	17,251	435	81	2,490	100.0	33.8	39.2	6.6	32.5	27.0	26.3	0.7
あわら市	28,729	10,247	10,437	1,761	8,676	7,705	6,956	714	35	340	100.0	36.1	36.8	6.2	30.6	27.1	24.6	2.5
越前市	81,524	27,612	37,730	4,883	32,847	13,294	12,709	525	60	2,888	100.0	35.1	48.0	6.2	41.8	16.9	16.2	0.7
坂井市	90,280	28,988	35,705	5,003	30,702	23,851	22,659	1,120	72	1,736	100.0	32.7	40.3	5.7	34.7	26.9	25.7	1.3
永平寺町	19,883	6,112	6,552	1,192	5,360	6,786	6,613	126	47	433	100.0	31.4	33.7	6.1	27.6	34.9	34.2	0.7
池田町	2,638	1,136	866	209	657	629	616	11	2	7	100.0	43.2	32.9	7.9	25.0	23.9	23.5	0.4
南越前町	10,799	4,008	3,282	565	2,717	3,440	3,381	49	10	69	100.0	37.4	30.6	5.3	25.3	32.1	31.6	0.5
越前町	21,538	7,629	7,289	1,547	5,742	6,375	6,235	106	34	245	100.0	35.8	34.2	7.3	27.0	29.9	29.4	0.5
美浜町	9,914	3,664	3,961	679	3,282	2,267	2,213	53	1	22	100.0	37.0	40.0	6.9	33.2	22.9	22.4	0.5
高浜町	10,596	3,535	4,791	858	3,933	2,168	1,399	763	6	102	100.0	33.7	45.7	8.2	37.5	20.7	13.4	7.3
おおい町	8,325	2,968	3,536	500	3,036	1,736	1,596	138	2	85	100.0	36.0	42.9	6.1	36.8	21.1	19.4	1.7
若狭町	15,257	5,588	6,400	1,301	5,099	3,257	3,070	186	1	12	100.0	36.7	42.0	8.5	33.4	21.4	20.1	1.2

1) 労働力状態が「完全失業者」、「家事」および「その他」の者

※従業地・通学地「不詳」を除く総数に占める割合。ただし、他市町の「県内」および「他県」の割合は次式により算出している。

県内(または他県) / (他市町 - 従業・通学市町「不詳・外国」) × 他市町の割合

2 従業地別就業者

(1) 男女、年齢別就業者

- ・「自市町」の割合は、男女ともにすべての年齢階級において6割を超えている
- ・男性に比べ、女性はすべての年齢階級において「自市町」が多い

15歳以上就業者（399,172人）に占める従業地別の割合をみると、「自市町」が70.8%（▲0.8ポイント）、「他市町」が29.2%（+0.8ポイント）となっている。男女別にみると、男性は「自市町」が67.0%（▲1.0ポイント）、「他市町」が33.0%（+1.0ポイント）、女性は「自市町」が75.4%（▲0.7ポイント）、「他市町」が24.6%（+0.7ポイント）となっており、男女ともに「自市町」で従業している者の割合は低下しているが、依然として6割以上の者が「自市町」で従業している。

年齢5歳階級別にみると、男性の25～29歳、女性の25～34歳を除くすべての年齢階級において「自市町」の割合が低下しており、特に男女ともに65歳以上において「自宅」の割合が低下している。

また、男女別にみると、女性のほうがすべての年齢階級において「自市町」で従業している者の割合が高い。[図2、表3]

図2 男女、年齢（5歳階級）、従業地別15歳以上就業者の割合（平成22年、27年）

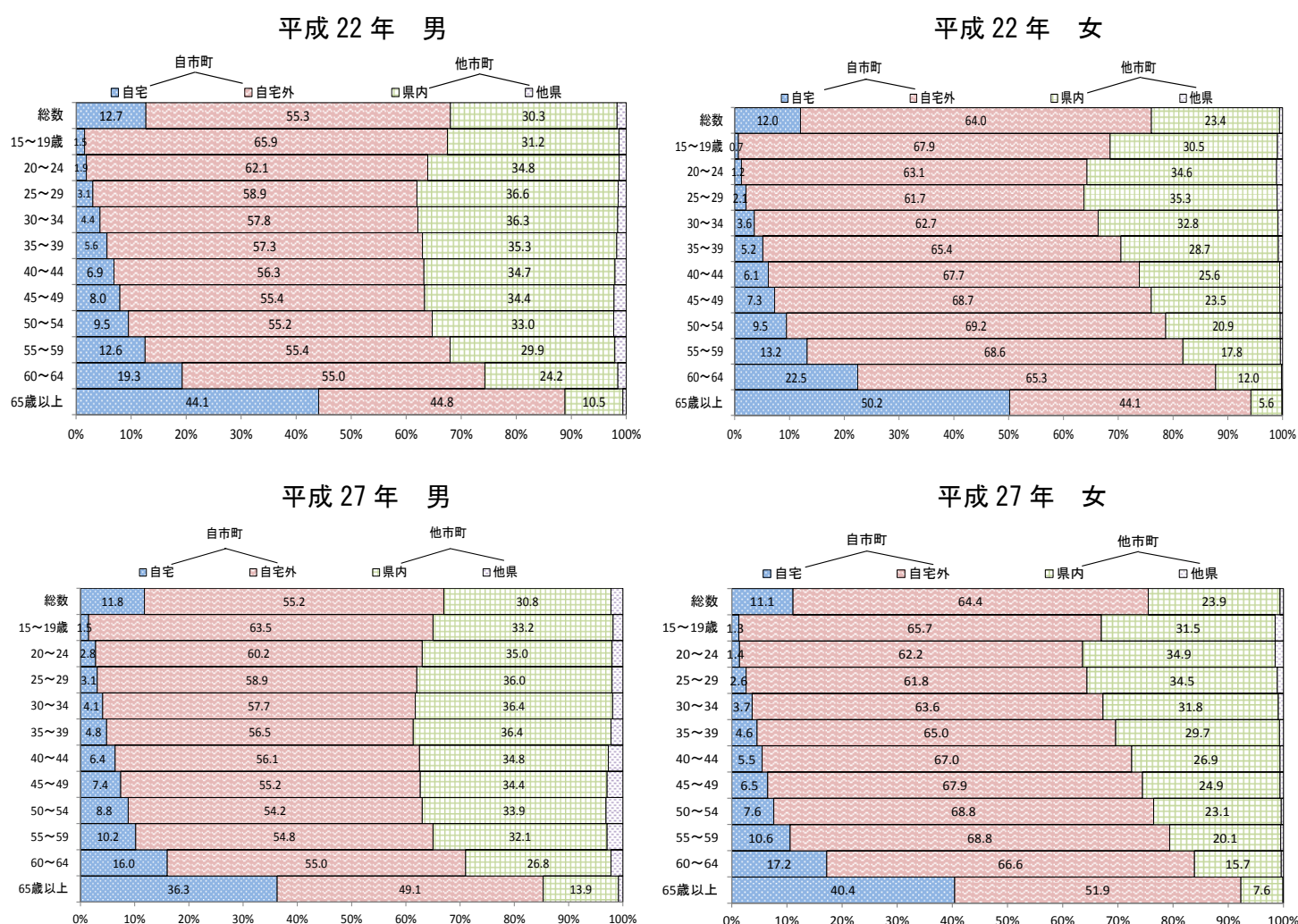


表3 男女、年齢（5歳階級）、従業地別15歳以上就業者に占める割合（平成22年、27年）

男女、年齢	平成22年(A)						平成27年(B)						差(B-A)					
	自市町			他市町			自市町			他市町			自市町			他市町		
	自宅	自宅外		県内	他県		自宅	自宅外		県内	他県		自宅	自宅外		県内	他県	
総数	71.6	12.4	59.2	28.4	27.2	1.2	70.8	11.5	59.3	29.2	27.7	1.5	▲0.8	▲0.9	0.1	0.8	0.5	0.3
15～19歳	68.0	1.1	66.8	32.0	30.9	1.1	65.9	1.4	64.5	34.1	32.4	1.7	▲2.1	0.3	▲2.3	2.1	1.5	0.6
20～24	64.1	1.6	62.6	35.9	34.7	1.2	63.3	2.1	61.2	36.7	34.9	1.8	▲0.8	0.5	▲1.4	0.8	0.2	0.6
25～29	62.8	2.6	60.2	37.2	36.0	1.2	63.1	2.9	60.3	36.9	35.3	1.6	0.3	0.3	0.1	▲0.3	▲0.7	0.4
30～34	64.0	4.0	59.9	36.0	34.8	1.2	64.3	3.9	60.4	35.7	34.3	1.4	0.3	▲0.1	0.5	▲0.3	▲0.5	0.2
35～39	66.3	5.4	60.9	33.7	32.4	1.3	65.2	4.7	60.4	34.8	33.3	1.5	▲1.1	▲0.7	▲0.5	1.1	0.9	0.2
40～44	68.2	6.5	61.7	31.8	30.5	1.3	67.2	6.0	61.2	32.8	31.1	1.7	▲1.0	▲0.5	▲0.5	1.0	0.6	0.4
45～49	69.3	7.7	61.7	30.7	29.2	1.4	68.3	7.0	61.3	31.7	29.9	1.8	▲1.0	▲0.7	▲0.4	1.0	0.7	0.4
50～54	71.2	9.5	61.7	28.8	27.4	1.4	69.4	8.3	61.1	30.6	28.8	1.8	▲1.8	▲1.2	▲0.6	1.8	1.4	0.4
55～59	74.1	12.9	61.2	25.9	24.6	1.3	71.6	10.4	61.2	28.4	26.6	1.8	▲2.5	▲2.5	0.0	2.5	2.0	0.5
60～64	79.8	20.6	59.2	20.2	19.2	1.0	76.5	16.5	60.0	23.5	22.0	1.4	▲3.3	▲4.1	0.8	3.3	2.8	0.4
65歳以上	91.0	46.5	44.5	9.0	8.6	0.4	88.2	38.0	50.2	11.8	11.3	0.5	▲2.8	▲8.5	5.7	2.8	2.7	0.1
男	68.0	12.7	55.3	32.0	30.3	1.7	67.0	11.8	55.2	33.0	30.8	2.2	▲1.0	▲0.9	▲0.1	1.0	0.5	0.5
15～19歳	67.5	1.5	65.9	32.5	31.2	1.3	65.0	1.5	63.5	35.0	33.2	1.8	▲2.5	0.0	▲2.4	2.5	2.0	0.5
20～24	63.9	1.9	62.1	36.1	34.8	1.3	63.0	2.8	60.2	37.0	35.0	2.0	▲0.9	0.9	▲1.9	0.9	0.2	0.7
25～29	61.9	3.1	58.9	38.1	36.6	1.5	62.0	3.1	58.9	38.0	36.0	2.0	0.1	0.0	0.0	▲0.1	▲0.6	0.5
30～34	62.1	4.4	57.8	37.9	36.3	1.5	61.7	4.1	57.7	38.3	36.4	1.9	▲0.4	▲0.3	▲0.1	0.4	0.1	0.4
35～39	63.0	5.6	57.3	37.0	35.3	1.7	61.4	4.8	56.5	38.6	36.4	2.2	▲1.6	▲0.8	▲0.8	1.6	1.1	0.5
40～44	63.2	6.9	56.3	36.8	34.7	2.0	62.5	6.4	56.1	37.5	34.8	2.7	▲0.7	▲0.5	▲0.2	0.7	0.1	0.7
45～49	63.3	8.0	55.4	36.7	34.4	2.2	62.6	7.4	55.2	37.4	34.4	2.9	▲0.7	▲0.6	▲0.2	0.7	0.0	0.7
50～54	64.7	9.5	55.2	35.3	33.0	2.3	63.0	8.8	54.2	37.0	33.9	3.1	▲1.7	▲0.7	▲1.0	1.7	0.9	0.8
55～59	68.0	12.6	55.4	32.0	29.9	2.1	65.0	10.2	54.8	35.0	32.1	2.9	▲3.0	▲2.4	▲0.6	3.0	2.2	0.8
60～64	74.3	19.3	55.0	25.7	24.2	1.5	71.0	16.0	55.0	29.0	26.8	2.2	▲3.3	▲3.3	0.0	3.3	2.6	0.7
65歳以上	88.9	44.1	44.8	11.1	10.5	0.6	85.4	36.3	49.1	14.6	13.9	0.8	▲3.5	▲7.8	4.3	3.5	3.4	0.2
女	76.1	12.0	64.0	23.9	23.4	0.6	75.4	11.1	64.4	24.6	23.9	0.6	▲0.7	▲0.9	0.4	0.7	0.5	0.0
15～19歳	68.5	0.7	67.9	31.5	30.5	0.9	67.0	1.3	65.7	33.0	31.5	1.5	▲1.5	0.6	▲2.2	1.5	1.0	0.6
20～24	64.3	1.2	63.1	35.7	34.6	1.1	63.7	1.4	62.2	36.3	34.9	1.5	▲0.6	0.2	▲0.9	0.6	0.3	0.4
25～29	63.8	2.1	61.7	36.2	35.3	1.0	64.4	2.6	61.8	35.6	34.5	1.1	0.6	0.5	0.1	▲0.6	▲0.8	0.1
30～34	66.3	3.6	62.7	33.7	32.8	0.8	67.3	3.7	63.6	32.7	31.8	0.9	1.0	0.1	0.9	▲1.0	▲1.0	0.1
35～39	70.5	5.2	65.4	29.5	28.7	0.8	69.7	4.6	65.0	30.3	29.7	0.7	▲0.8	▲0.6	▲0.4	0.8	1.0	▲0.1
40～44	73.8	6.1	67.7	26.2	25.6	0.5	72.6	5.5	67.0	27.4	26.9	0.6	▲1.2	▲0.6	▲0.7	1.2	1.3	0.1
45～49	76.0	7.3	68.7	24.0	23.5	0.5	74.5	6.5	67.9	25.5	24.9	0.6	▲1.5	▲0.8	▲0.8	1.5	1.4	0.1
50～54	78.7	9.5	69.2	21.3	20.9	0.4	76.4	7.6	68.8	23.6	23.1	0.4	▲2.3	▲1.9	▲0.4	2.3	2.2	0.0
55～59	81.8	13.2	68.6	18.2	17.8	0.4	79.4	10.6	68.8	20.6	20.1	0.5	▲2.4	▲2.6	0.2	2.4	2.3	0.1
60～64	87.8	22.5	65.3	12.2	12.0	0.2	83.9	17.2	66.6	16.1	15.7	0.4	▲3.9	▲5.3	1.3	3.9	3.7	0.2
65歳以上	94.2	50.2	44.1	5.8	5.6	0.1	92.3	40.4	51.9	7.7	7.6	0.1	▲1.9	▲9.8	7.8	1.9	2.0	0.0

※従業地「不詳」を除く総数に占める割合。ただし、他市町の「県内」および「他県」の割合は次式により算出している。
 県内(または他県) / (他市町-従業(+通学)市町「不詳+外国」) × 他市町の割合

(2) 産業別就業者

- ・平成22年と同様、従業地が「自市町」の割合が高いのは第1次産業および「宿泊業，飲食サービス業」
- ・従業地が「他市町」の割合が高いのは「情報通信業」

産業別 15歳以上就業者に占める従業地別の割合をみると、「自市町」は平成22年に比べると、割合が低下している産業が多いものの、第1次産業が9割を超えており、次いで、第3次産業の「宿泊業，飲食サービス業」が81.7%と高くなっている。

一方、「他市町」は平成22年に比べ、割合が上昇している産業が多く、「情報通信業」が43.4%と最も高く、次いで、「運輸業，郵便業」が38.7%、「金融業，保険業」が37.6%となっており、割合が高い産業は平成22年と同様である。[図3、表4]

図3 産業、従業地別15歳以上就業者の割合（平成27年）

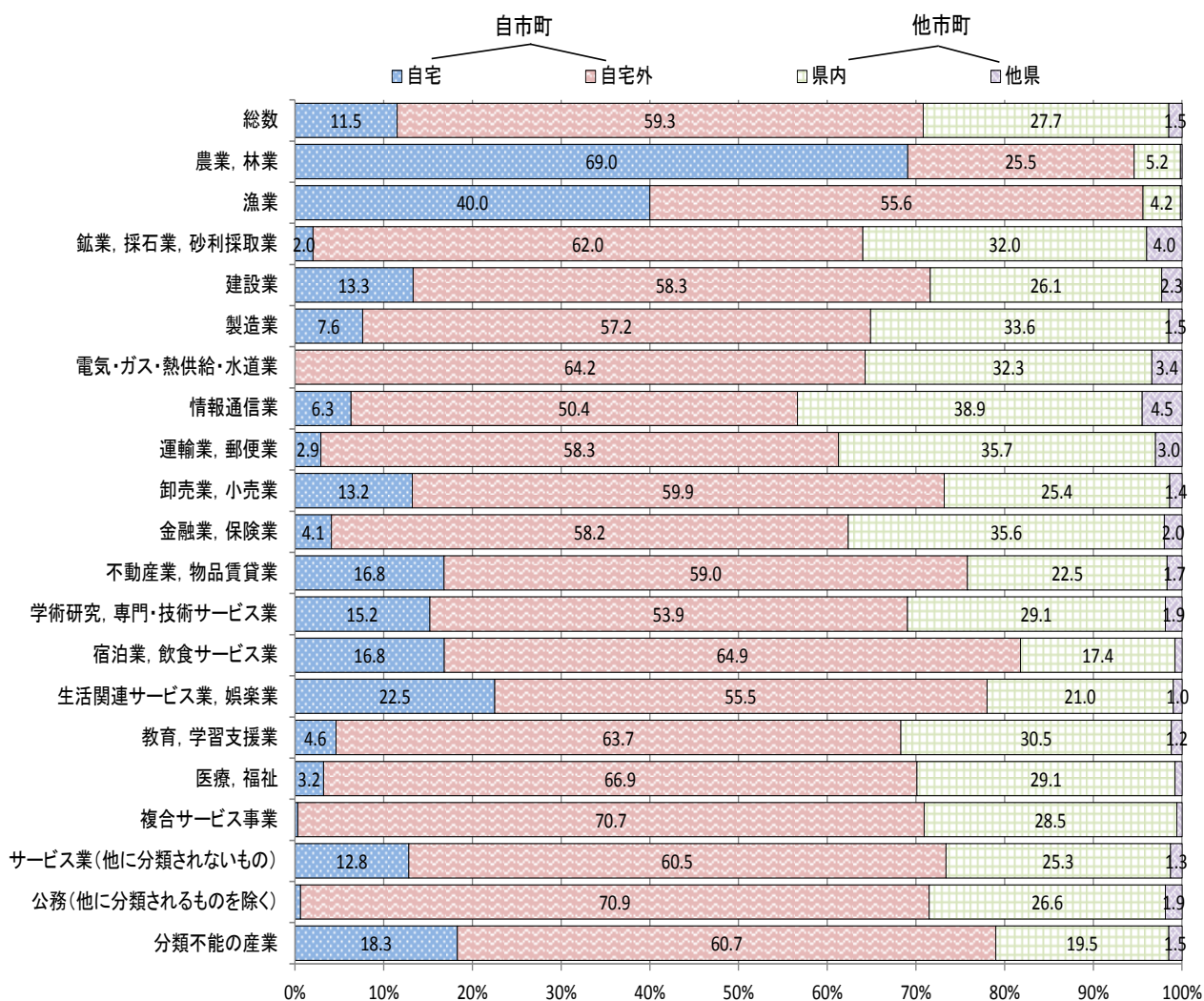


表4 産業、従業地別15歳以上就業者に占める割合（平成22年、27年）

産 業	平成22年(A)						平成27年(B)						差(B-A)					
	自市町			他市町			自市町			他市町			自市町			他市町		
	自宅	自宅外		県内	他県		自宅	自宅外		県内	他県		自宅	自宅外		県内	他県	
総数	71.6	12.4	59.2	28.4	27.2	1.2	70.8	11.5	59.3	29.2	27.7	1.5	▲0.8	▲0.9	0.1	0.8	0.5	0.3
第1次産業	95.8	73.7	22.1	4.2	4.0	0.2	94.6	67.0	27.6	5.4	5.2	0.2	▲1.2	▲6.7	5.5	1.2	1.2	0.0
A 農業, 林業	95.8	75.6	20.2	4.2	4.0	0.2	94.5	69.0	25.5	5.5	5.2	0.2	▲1.3	▲6.6	5.3	1.3	1.2	0.0
B 漁業	96.2	50.2	46.0	3.8	3.6	0.2	95.5	40.0	55.6	4.5	4.2	0.2	▲0.7	▲10.2	9.6	0.7	0.6	0.0
第2次産業	68.2	10.2	58.1	31.8	30.4	1.3	66.9	9.3	57.6	33.1	31.4	1.7	▲1.3	▲0.9	▲0.5	1.3	1.0	0.4
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	63.6	4.1	59.5	36.4	32.0	4.3	64.0	2.0	62.0	36.0	32.0	4.0	0.4	▲2.1	2.5	▲0.4	0.0	▲0.3
D 建設業	72.9	14.4	58.4	27.1	25.5	1.6	71.6	13.3	58.3	28.4	26.1	2.3	▲1.3	▲1.1	▲0.1	1.3	0.6	0.7
E 製造業	66.2	8.3	57.9	33.8	32.6	1.2	64.9	7.6	57.2	35.1	33.6	1.5	▲1.3	▲0.7	▲0.7	1.3	1.0	0.3
第3次産業	71.6	9.6	62.0	28.4	27.2	1.2	71.3	9.2	62.0	28.7	27.3	1.5	▲0.3	▲0.4	0.0	0.3	0.1	0.3
F 電気・ガス・熱供給・水道業	65.7	-	65.7	34.3	32.7	1.7	64.3	0.0	64.2	35.7	32.3	3.4	▲1.4	-	▲1.5	1.4	▲0.4	1.7
G 情報通信業	56.4	4.9	51.5	43.6	39.7	4.0	56.6	6.3	50.4	43.4	38.9	4.5	0.2	1.4	▲1.1	▲0.2	▲0.8	0.5
H 運輸業, 郵便業	60.9	2.4	58.4	39.1	36.8	2.4	61.3	2.9	58.3	38.7	35.7	3.0	0.4	0.5	▲0.1	▲0.4	▲1.1	0.6
I 卸売業, 小売業	74.1	14.6	59.5	25.9	24.8	1.1	73.2	13.2	59.9	26.8	25.4	1.4	▲0.9	▲1.4	0.4	0.9	0.6	0.3
J 金融業, 保険業	62.8	3.4	59.5	37.2	35.7	1.5	62.4	4.1	58.2	37.6	35.6	2.0	▲0.4	0.7	▲1.3	0.4	▲0.1	0.5
K 不動産業, 物品賃貸業	76.5	15.9	60.6	23.5	22.0	1.5	75.8	16.8	59.0	24.2	22.5	1.7	▲0.7	0.9	▲1.6	0.7	0.5	0.2
L 学術研究, 専門・技術サービス業	69.8	14.7	55.1	30.2	28.9	1.2	69.1	15.2	53.9	30.9	29.1	1.9	▲0.7	0.5	▲1.2	0.7	0.2	0.7
M 宿泊業, 飲食サービス業	82.5	18.6	63.9	17.5	16.8	0.7	81.7	16.8	64.9	18.3	17.4	0.8	▲0.8	▲1.8	1.0	0.8	0.6	0.1
N 生活関連サービス業, 娯楽業	78.1	22.8	55.3	21.9	21.0	0.9	78.0	22.5	55.5	22.0	21.0	1.0	▲0.1	▲0.3	0.2	0.1	0.0	0.1
O 教育, 学習支援業	68.2	4.0	64.1	31.8	30.9	0.9	68.3	4.6	63.7	31.7	30.5	1.2	0.1	0.6	▲0.4	▲0.1	▲0.4	0.3
P 医療, 福祉	70.0	3.2	66.8	30.0	29.3	0.7	70.1	3.2	66.9	29.9	29.1	0.8	0.1	0.0	0.1	▲0.1	▲0.2	0.1
Q 複合サービス事業	72.0	0.2	71.7	28.0	27.8	0.2	71.0	0.3	70.7	29.0	28.5	0.6	▲1.0	0.1	▲1.0	1.0	0.7	0.4
R サービス業(他に分類されないもの)	73.5	11.5	62.0	26.5	25.5	1.1	73.3	12.8	60.5	26.7	25.3	1.3	▲0.2	1.3	▲1.5	0.2	▲0.2	0.2
S 公務(他に分類されるものを除く)	71.4	0.3	71.0	28.6	26.9	1.7	71.5	0.6	70.9	28.5	26.6	1.9	0.1	0.3	▲0.1	▲0.1	▲0.3	0.2
分類不能の産業	78.0	14.7	63.2	22.0	20.6	1.5	79.0	18.3	60.7	21.0	19.5	1.5	1.0	3.6	▲2.5	▲1.0	▲1.1	0.0

3 昼夜間人口

(1) 昼夜間人口比率

- ・ 昼間人口が夜間人口をわずかに下回り、昼夜間人口比率は100.0（全国第15位）
- ・ 嶺北では、福井市および越前市以外の市町の昼夜間人口比率が100を下回り、嶺南では、若狭町以外のすべての市町において100を上回る

平成27年は昼間人口が786,736人、夜間人口が786,740人となり昼夜間人口比率（昼間人口／夜間人口×100）は100.0となった。平成22年に比べ0.1ポイント低下し、全国第15位となった。[表5]

市町別昼夜間人口比率をみると、嶺北では、福井市の110.1、越前市の103.1を除いた各市町において100未満となっており、他地域へ流出^注する人口が多くなっている。一方、嶺南では、若狭町の94.1を除いた各市町において100以上となっており、他地域から流入^注する人口が多くなっている。[表6、図4]

注 流出（流入）とは、当該地域から他地域へ通勤・通学していること（他地域から当該地域へ通勤・通学していること）をいう。なお、「他地域」とは、県の場合は他県、市町の場合は他県および県内他市町となる。

表5 都道府県別夜間人口、昼間人口および昼夜間人口比率（平成27年）

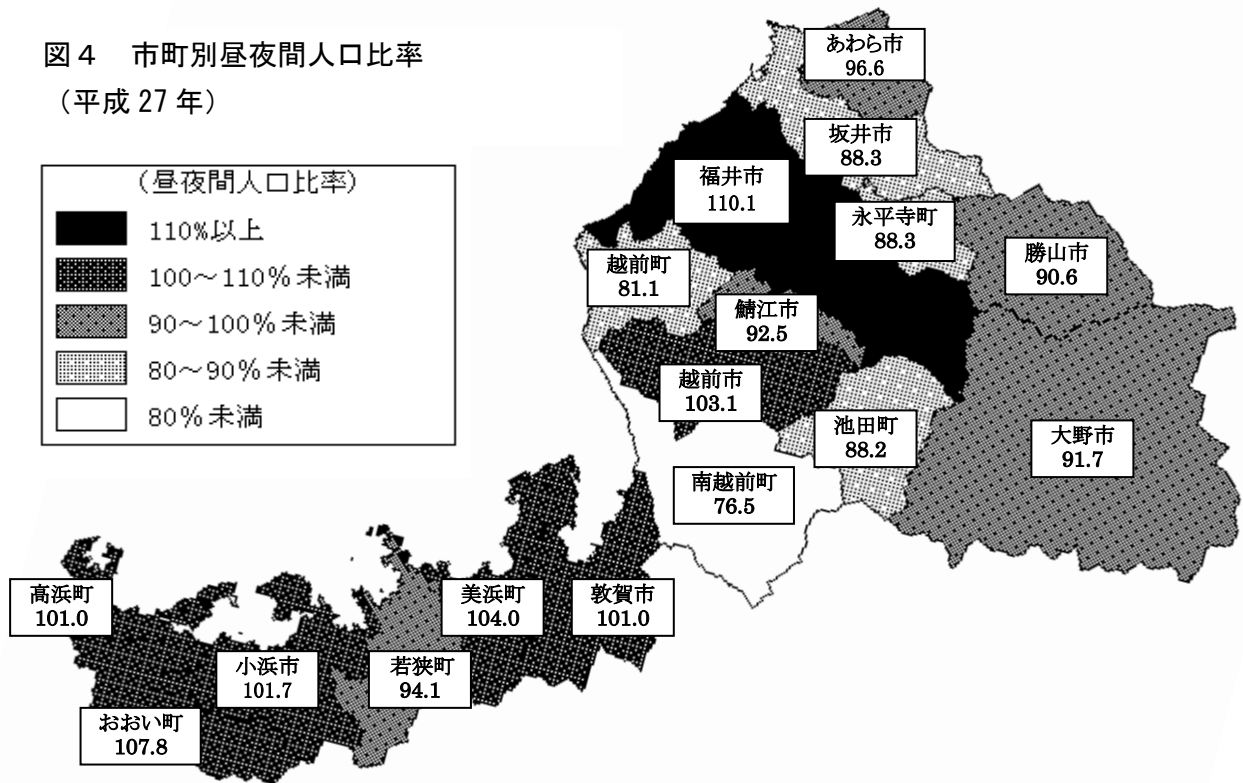
都道府県	夜間人口（人）	昼間人口（人）	昼夜間人口比率	
			比率	順位
全 国	127,094,745	127,094,745	100.0	
東 京 都	13,515,271	15,920,405	117.8	1
大 阪 府	8,839,469	9,224,306	104.4	2
京 都 府	2,610,353	2,656,353	101.8	3
愛 知 県	7,483,128	7,586,294	101.4	4
宮 城 県	2,333,899	2,339,786	100.3	5
佐 賀 県	832,832	834,871	100.2	6
香 川 県	976,263	978,511	100.2	7
石 川 県	1,154,008	1,156,536	100.2	8
広 島 県	2,843,990	2,850,087	100.2	9
福 島 県	1,914,039	1,917,815	100.2	10
福 岡 県	5,101,556	5,105,438	100.1	11
島 根 県	694,352	694,770	100.1	12
岡 山 県	1,921,525	1,921,822	100.0	13
愛 媛 県	1,385,262	1,385,392	100.0	14
福 井 県	786,740	786,736	100.0	15
沖 縄 県	1,433,566	1,433,110	100.0	16
北 海 道	5,381,733	5,378,786	99.9	17
大 分 県	1,166,338	1,165,668	99.9	18
宮 崎 県	1,104,069	1,103,434	99.9	19
高 知 県	728,276	727,644	99.9	20
新 潟 県	2,304,264	2,302,236	99.9	21
鹿 児 島 県	1,648,177	1,646,386	99.9	22
鳥 取 県	573,441	572,678	99.9	23
青 森 県	1,308,265	1,306,283	99.8	24
群 馬 県	1,973,115	1,969,764	99.8	25
静 岡 県	3,700,305	3,692,336	99.8	26
長 崎 県	1,377,187	1,374,210	99.8	27
岩 手 県	1,279,594	1,276,705	99.8	28
長 野 県	2,098,804	2,094,051	99.8	29
富 山 県	1,066,328	1,063,834	99.8	30
秋 田 県	1,023,119	1,020,642	99.8	31
山 形 県	1,123,891	1,120,365	99.7	32
徳 島 県	755,733	752,919	99.6	33
山 口 県	1,404,729	1,399,109	99.6	34
熊 本 県	1,786,170	1,777,292	99.5	35
山 梨 県	834,930	828,495	99.2	36
栃 木 県	1,974,255	1,955,198	99.0	37
三 重 県	1,815,865	1,784,775	98.3	38
和 歌 山 県	963,579	946,387	98.2	39
茨 城 県	2,916,976	2,842,851	97.5	40
滋 賀 県	1,412,916	1,363,716	96.5	41
岐 阜 県	2,031,903	1,952,630	96.1	42
兵 庫 県	5,534,800	5,294,074	95.7	43
神 奈 川 県	9,126,214	8,322,926	91.2	44
奈 良 県	1,364,316	1,228,426	90.0	45
千 葉 県	6,222,666	5,582,241	89.7	46
埼 玉 県	7,266,534	6,456,452	88.9	47

表6 市町別夜間人口、昼間人口および昼夜間人口比率（平成22年、27年）

	夜間人口(A)				昼間人口(B)				昼夜間人口比率 (B/A)×100		
	平成22年	平成27年	順位	増減 (H27-H22)	平成22年	平成27年	順位	増減 (H27-H22)	平成22年	平成27年	ポイント差 (H27-H22)
福井県	806,314	786,740		▲ 19,574	806,735	786,736		▲ 19,999	100.1	100.0	▲ 0.1
福井市	266,796	265,904	1	▲ 892	294,492	292,855	1	▲ 1,637	110.4	110.1	▲ 0.3
敦賀市	67,760	66,165	5	▲ 1,595	68,887	66,814	4	▲ 2,073	101.7	101.0	▲ 0.7
小浜市	31,340	29,670	7	▲ 1,670	32,213	30,177	7	▲ 2,036	102.8	101.7	▲ 1.1
大野市	35,291	33,109	6	▲ 2,182	32,394	30,345	6	▲ 2,049	91.8	91.7	▲ 0.1
勝山市	25,466	24,125	9	▲ 1,341	23,099	21,869	9	▲ 1,230	90.7	90.6	▲ 0.1
鯖江市	67,450	68,284	4	▲ 834	63,833	63,166	5	▲ 667	94.6	92.5	▲ 2.1
あわら市	29,989	28,729	8	▲ 1,260	28,333	27,747	8	▲ 586	94.5	96.6	▲ 2.1
越前市	85,614	81,524	3	▲ 4,090	87,571	84,088	2	▲ 3,483	102.3	103.1	▲ 0.8
坂井市	91,900	90,280	2	▲ 1,620	81,813	79,727	3	▲ 2,086	89.0	88.3	▲ 0.7
永平寺町	20,647	19,883	11	▲ 764	18,069	17,561	10	▲ 508	87.5	88.3	▲ 0.8
池田町	3,046	2,638	17	▲ 408	2,628	2,326	17	▲ 302	86.3	88.2	▲ 1.9
南越前町	11,551	10,799	13	▲ 752	8,708	8,261	16	▲ 447	75.4	76.5	▲ 1.1
越前町	23,160	21,538	10	▲ 1,622	18,891	17,459	11	▲ 1,432	81.6	81.1	▲ 0.5
美浜町	10,563	9,914	15	▲ 649	10,799	10,306	14	▲ 493	102.2	104.0	▲ 1.8
高浜町	11,062	10,596	14	▲ 466	10,845	10,703	13	▲ 142	98.0	101.0	▲ 3.0
おおい町	8,580	8,325	16	▲ 255	9,032	8,978	15	▲ 54	105.3	107.8	▲ 2.5
若狭町	16,099	15,257	12	▲ 842	15,128	14,354	12	▲ 774	94.0	94.1	▲ 0.1

※昼夜間人口比率は、表彰単位未満で四捨五入しており、各市町の順位は表彰単位未満を含んだ数値から算出している。

図4 市町別昼夜間人口比率
(平成27年)



(2) 流出人口

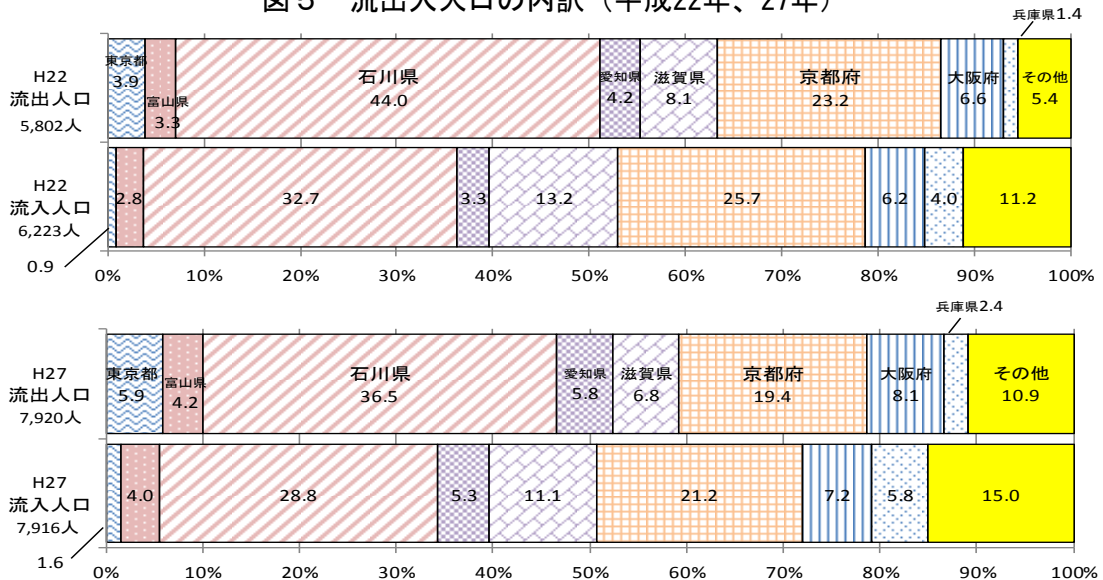
・福井県の人口の流出、流入先はともに石川県および京都府が多い

福井県から他県への流出人口は平成22年に比べ2,118人増加し、7,920人となり、そのうち石川県および京都府への流出が5割以上を占めている。一方、他県から福井県への流入人口は平成22年に比べ1,693人増加し、7,916人となり、流出と同様、石川県および京都府からの流入が約5割を占めている。[表7、図5]

表7 夜間人口、昼間人口および人口の流出入（平成22年、27年）

区分	平成22年	平成27年	増減
夜間人口 (a)	806,314	786,740	△ 19,574
昼間人口 (b) (a-c+d)	806,735	786,736	△ 19,999
流出人口 (c)	5,802	7,920	2,118
15歳以上就業者のうち 他県へ通勤	4,641	5,868	1,227
うち石川県へ	2,146	2,440	294
うち京都府へ	1,080	1,098	18
その他	1,415	2,330	915
15歳未満を含む通学者のうち 他県へ通学	1,161	2,052	891
うち石川県へ	406	454	48
うち京都府へ	265	436	171
その他	490	1,162	672
流入人口 (d)	6,223	7,916	1,693
15歳以上就業者のうち 他県から通勤	5,714	6,902	1,188
うち石川県から	1,830	2,047	217
うち京都府から	1,558	1,608	50
その他	2,326	3,247	921
15歳未満を含む通学者のうち 他県から通学	509	1,014	505
うち石川県から	204	234	30
うち京都府から	44	71	27
その他	261	709	448

図5 流出人口の内訳（平成22年、27年）



・市町別では、石川県との流出入は福井市、あわら市、坂井市の3市が顕著
 京都府との流出入は高浜町が約5割を占める

流出、流入ともに県の5割以上を占める石川県および京都府との流出入人口を市町別にみると、石川県との流出入は、福井市、あわら市および坂井市の3市が8割程度を占めており、特に福井市への流入が県内の約5割を占めており、顕著である。

京都府との流出入は、嶺南の市町が流出の7割、流入の9割程度を占めており、特に高浜町が流入、流出ともに県内の約5割を占めている。おおい町は、流出が6.7%であるのに対して、流入が21.7%とその割合が非常に高くなっている。〔図6-1、図6-2〕

図6-1 石川県との流出入人口の内訳（平成27年）

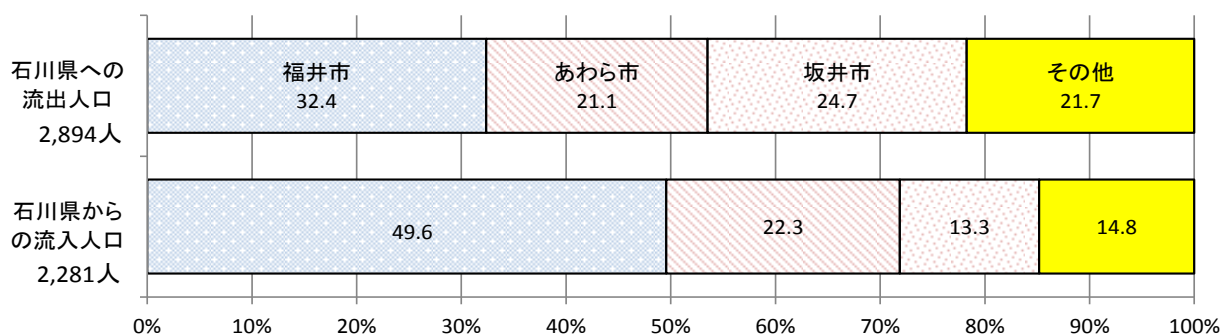
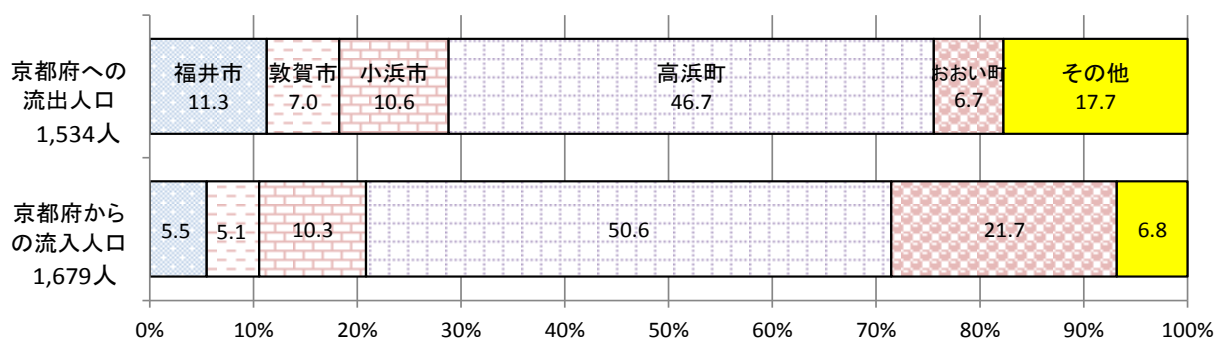


図6-2 京都府との流出入人口の内訳（平成27年）



・ 県内市町間は、嶺北各市町からの福井市への流出が集中している

県内市町間における流出入をみると、嶺北の各市町は、福井市への流出が大きい市町が多く、福井市に従業地・通学地が集中していることがうかがえる。一方、嶺南においては、従業地・通学地の一極集中はみられない。〔表8-1、表8-2〕

表8-1 県内他市町への人口
流出数内訳（上位3市町）

	1位	2位	3位
福井市	坂井市 (6,987人)	鯖江市 (3,988人)	越前市 (3,283人)
敦賀市	美浜町 (1,680人)	福井市 (586人)	若狭町 (564人)
小浜市	若狭町 (1,033人)	おおい町 (928人)	高浜町 (633人)
大野市	福井市 (2,602人)	勝山市 (1,626人)	坂井市 (227人)
勝山市	福井市 (2,124人)	大野市 (1,363人)	永平寺町 (469人)
鯖江市	福井市 (8,472人)	越前市 (6,669人)	越前町 (921人)
あわら市	坂井市 (3,450人)	福井市 (3,123人)	永平寺町 (137人)
越前市	福井市 (5,331人)	鯖江市 (5,124人)	越前町 (609人)
坂井市	福井市 (16,094人)	あわら市 (4,020人)	永平寺町 (1,197人)
永平寺町	福井市 (4,891人)	坂井市 (854人)	勝山市 (274人)
池田町	越前市 (304人)	福井市 (168人)	鯖江市 (119人)
南越前町	越前市 (2,029人)	福井市 (540人)	鯖江市 (442人)
越前町	福井市 (2,255人)	越前市 (1,928人)	鯖江市 (1,754人)
美浜町	敦賀市 (1,548人)	若狭町 (440人)	小浜市 (109人)
高浜町	小浜市 (690人)	おおい町 (609人)	若狭町 (44人)
おおい町	小浜市 (1,000人)	高浜町 (413人)	若狭町 (94人)
若狭町	小浜市 (1,467人)	敦賀市 (854人)	美浜町 (449人)

表8-2 県内他市町からの人口
流入数内訳（上位3市町）

	1位	2位	3位
福井市	坂井市 (16,094人)	鯖江市 (8,472人)	越前市 (5,331人)
敦賀市	美浜町 (1,548人)	若狭町 (854人)	福井市 (395人)
小浜市	若狭町 (1,467人)	おおい町 (1,000人)	高浜町 (690人)
大野市	勝山市 (1,363人)	福井市 (593人)	永平寺町 (110人)
勝山市	大野市 (1,626人)	福井市 (313人)	永平寺町 (274人)
鯖江市	越前市 (5,124人)	福井市 (3,988人)	越前町 (1,754人)
あわら市	坂井市 (4,020人)	福井市 (1,615人)	永平寺町 (151人)
越前市	鯖江市 (6,669人)	福井市 (3,283人)	南越前町 (2,029人)
坂井市	福井市 (6,987人)	あわら市 (3,450人)	永平寺町 (854人)
永平寺町	福井市 (1,762人)	坂井市 (1,197人)	勝山市 (469人)
池田町	越前市 (153人)	鯖江市 (81人)	福井市 (47人)
南越前町	越前市 (598人)	鯖江市 (123人)	福井市 (44人)
越前町	鯖江市 (921人)	越前市 (609人)	福井市 (567人)
美浜町	敦賀市 (1,680人)	若狭町 (449人)	小浜市 (180人)
高浜町	小浜市 (633人)	おおい町 (413人)	若狭町 (98人)
おおい町	小浜市 (928人)	高浜町 (609人)	若狭町 (146人)
若狭町	小浜市 (1,033人)	敦賀市 (564人)	美浜町 (440人)

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県

平成27年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計
福井県結果の概要

福井県 総合政策部 政策統計・情報課 人口・生活統計グループ
〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号
電話 0776-20-0273 (ダイヤルイン)
0776-21-1111 (代表) 内線 2376

政策統計・情報課ホームページ

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/toukei/>